

一般質問

6 月定例会における一般質問は、6 月 12 日、13 日の 2 日にわたり 9 名の議員により行われました。

細 谷 菜穂子 議員
(無会派)

市民生活について

問 市内東郷地区など道路排水溝の流れが非常に悪く、場所によってはポンプで汲み出している現状である。要望を出してからいっこうに改善されず、衛生環境も悪い。また、住民の高齢化も顕著。行政は現場に足を運び、状況判断し早急達成を。

答 道路排水整備の要望については道路冠水の状況や排水路の利用形態、環境面等を総合的に勘案した中で、整備が

必要な箇所を選定し、実施している。要望に対して未達成の理由としては道路や橋梁な

ど土木施設の経年劣化が進み、維持補修が急務となっていること、子供たちの安全を確保するための歩道整備や区画線の引き直し等についても早急な対応が求められていることから、限られた予算の中で事業が進捗しない状況にある。道路排水整備については生活に直結する切実な要望であるので、できる限り多くの市民要望に応えられるよう努めていきたい。

若い世帯の定住促進について

問 茂原市の人口が減る中で、多くの若い世帯が住んでくれることが人口を増やすことになる。定住促進のために働く場の確保と保育サービスを厚くすることが重要となる

が、市としてどのような施策を考えているのかを伺う。

答 少子高齢化、人口減少が進む中、地域の賑わいや活力の担い手である若い世代の定住を促進するための有効な施策をいかに講じることができ

その他の質問事項

- ・道路側溝の蓋の整備について
- ・空き地のゴミについて
- ・買い物で人が集まれる居場所づくりについて
- ・市民アンケートについて



小久保 ともこ 議員
(公明党)

救急医療の充実について

問 平成 25 年 4 月から消防指令業務がちば消防共同指令センターで共同運用となり、迅速かつ的確な対応が期待される。救急体制が今までと比較し、どのように改善されたのか、現状と今後の取り組みについて伺いたい。

答 長生郡市では以前、二次待機病院において 1 カ月の半分近くが空白日であった

が、平成 21 年 5 月以降は解消されている。本年 6 月から山武長生夷隅地域救急コーディネイト事業が開始され、夜間を中心に受け入れが難しい脳血管疾患・循環器疾患・重度外傷の救急患者について近隣医療圏の病院に迅速かつ適切に搬送できるよう改善が図ら

れた。今後は一部の時間帯にある空白時間の解消や課題となっている産科、小児救急の充実に努めていきたい。

子ども医療費の助成拡大について

問 子ども医療費の助成対象者を中学 3 年生まで拡大すべきと考えるが、見解を伺う。経費については 3 ワクチンの定期接種化により、約 1 億円助かる事となる。それを子ども医療費分に充ててはどうか。

答 本市では県の助成基準に準じ、0 歳から小学 3 年生までは通院、入院及び調剤、小学 4 年生から中学 3 年生までは入院のみを対象として実施している。市独自に通院及び調剤について小学 4 年生から中学 3 年生まで拡大した場合、対象者は約 3500 人で